

経済指標レポート 第248号

(社) 関西経済連合会 経済調査部 (担当: 田村)

Tel: 06-6441-0102 Fax: 06-6441-0443

国内景気 BSI ▲66.2 2001年10~12月期調査以来の低水準

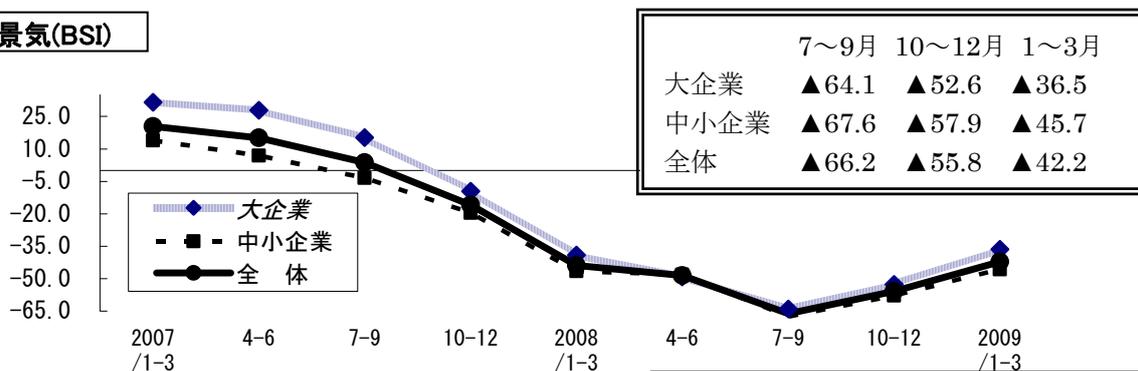
関経連と大阪商工会議所が8月下旬から9月上旬にかけて会員企業を対象に実施した「第31回経済・経営動向調査」によると、7~9月期における国内景気のBSI(「上昇する」と回答した数から「下降する」と回答した数を引いた数値)は▲66.2となり、4期連続のマイナス、2001年10~12月期(▲69.8)以来の低水準となった。先行きのBSIも10~12月期▲55.8、2009年1~3月期▲42.2と、悲観的な見方が続いている。

自社業況のBSIは、7~9月期▲27.9と3期連続のマイナス、先行きは、10~12月期▲17.7、2009年1~3月期▲17.4と上昇するもののマイナス圏にとどまる。企業規模別の先行きは、大企業では10~12月期▲9.1、2009年1~3月期▲5.3、中小企業では10~12月期▲23.2、2009年1~3月期▲25.0となり、中小企業は大企業より慎重な見方をしている。

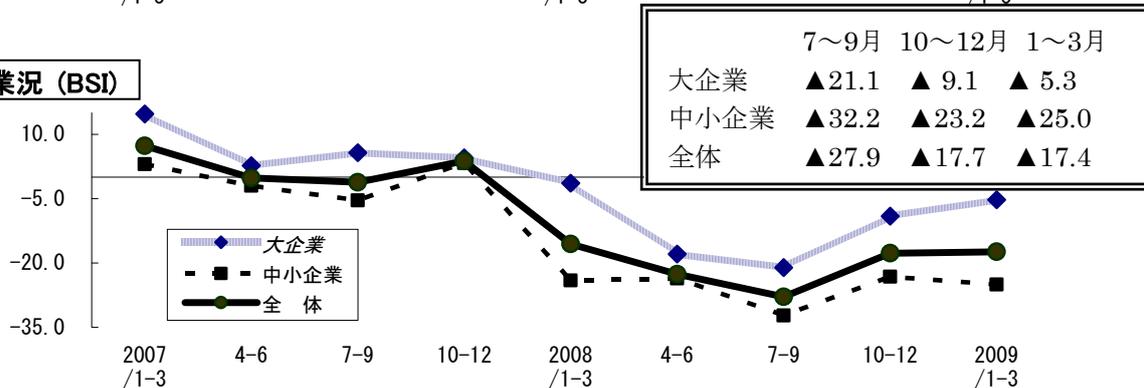
製・商品の価格については、足下、先行きとも「上昇」が「下降」を上回るものの、原油価格上昇の一服等により、先行きは「上昇」の割合が減少。2009年1~3月期は「ほぼ不変」との回答が69.4%を占める。しかし、生産・売上高、及び、経常利益については、足下、先行きとも「減少」が「増加」を上回っており、厳しい見方が続く。

米国の金融不安や欧州の景気悪化懸念等、日本経済へのマイナス要因が続く。24日に誕生した麻生新政権には、強いリーダーシップの下、足下の景気立て直しに向け、緊急経済対策の早期実施を期待したい。

国内景気(BSI)

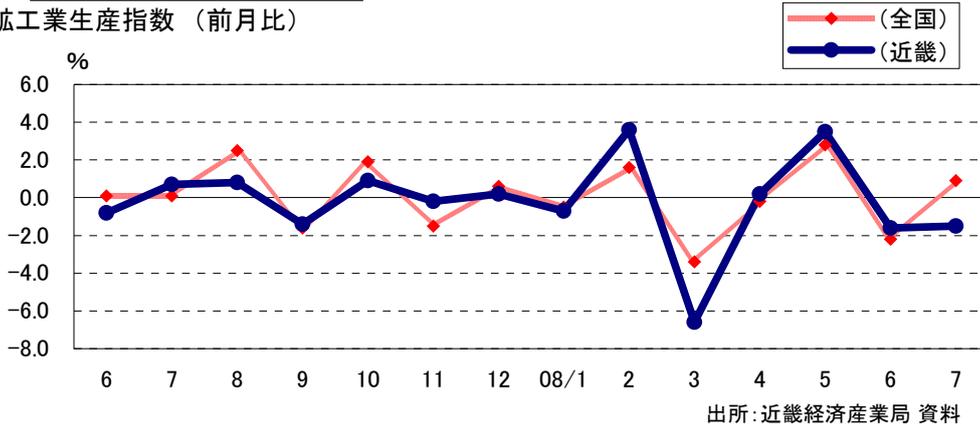


自社業況(BSI)



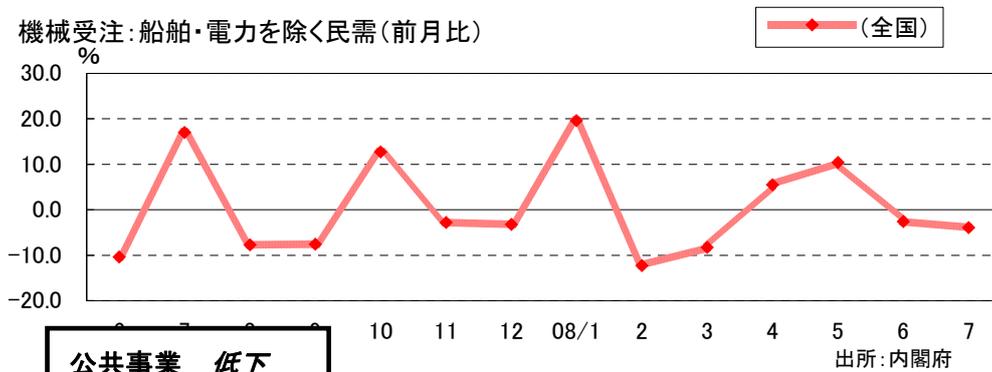
生産・機械受注 低下

鉱工業生産指数（前月比）



◇近畿は前月比 1.5%減、2ヶ月連続の低下。業種別では、一般機械工業、化学工業(除、医薬品)、金属製品工業などが低下。品目別では橋りょう、ポリプロピレン、ガスタービンの順に低下に寄与。

機械受注:船舶・電力を除く民需(前月比)



◇機械受注は前月比 3.9%減となった。業種別の受注は製造業が同 10.4%減、非製造業(船舶・電力を除く)が 2.4%減となった。

公共事業 低下

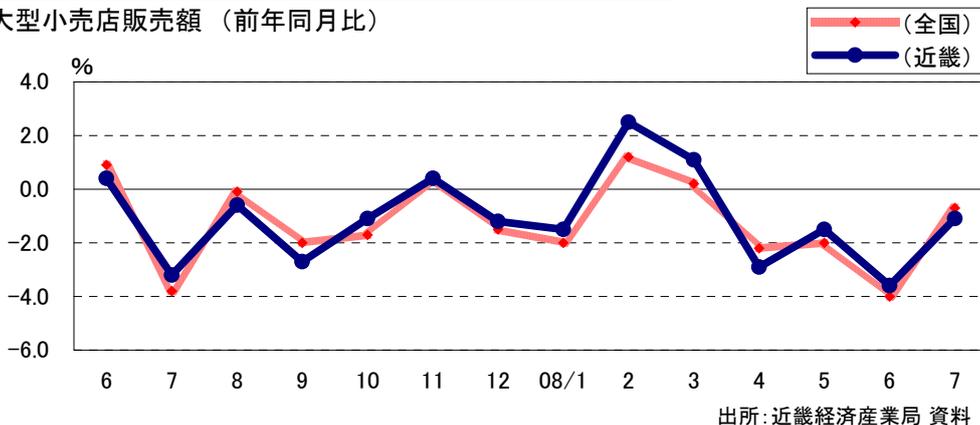
公共工事請負金額（前年同月比）



◇近畿は前年同月比 12.1%減。府県、独立行政法人等、市町村・国のすべての発注者で前年度を下回った。

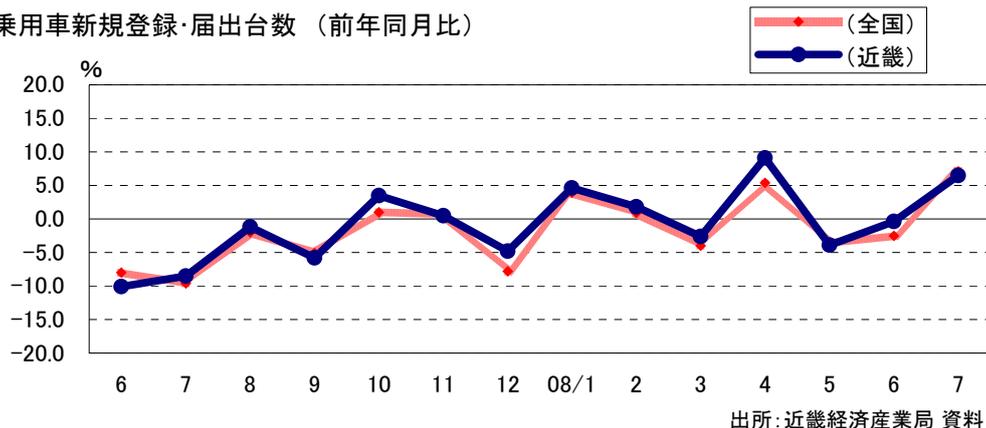
消費・住宅 大型小売店販売額は低下 住宅・車は増加

大型小売店販売額（前年同月比）



◇近畿は既存店ベースで前年同月比 1.1%減と4ヶ月連続の減少。商品別にみると、「飲食料品」等は前年を上回ったが、「衣料品」「その他の商品」「身の回り品」等は前年を下回った。業態別では、百貨店が同 3.7%減で5ヶ月連続のマイナス、スーパーは同 1.2%増と4ヶ月ぶりのプラス。

乗用車新規登録・届出台数（前年同月比）



◇近畿は前年同月比6.5%増と3ヶ月ぶりに前年を上回った。普通車は13ヶ月連続、小型車、軽四車はそれぞれ3ヶ月ぶりに前年を上回った。

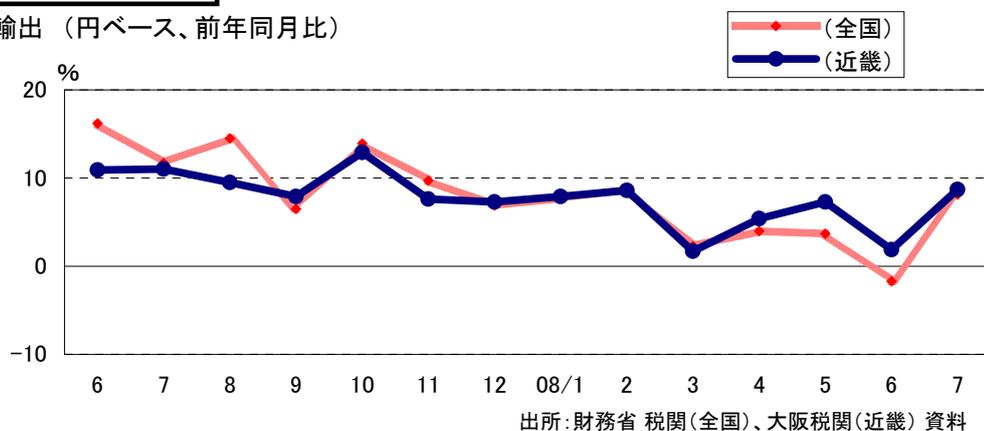
新設住宅着工戸数（前年同月比）



◇近畿は前年同月比22.7%増と3ヶ月ぶりの増加(ただし、昨年7月は、改正建築基準法の施行直後で着工戸数が大幅減)。持家は18ヶ月ぶり、分譲住宅、貸家とも3ヶ月ぶりに前年を上回った。

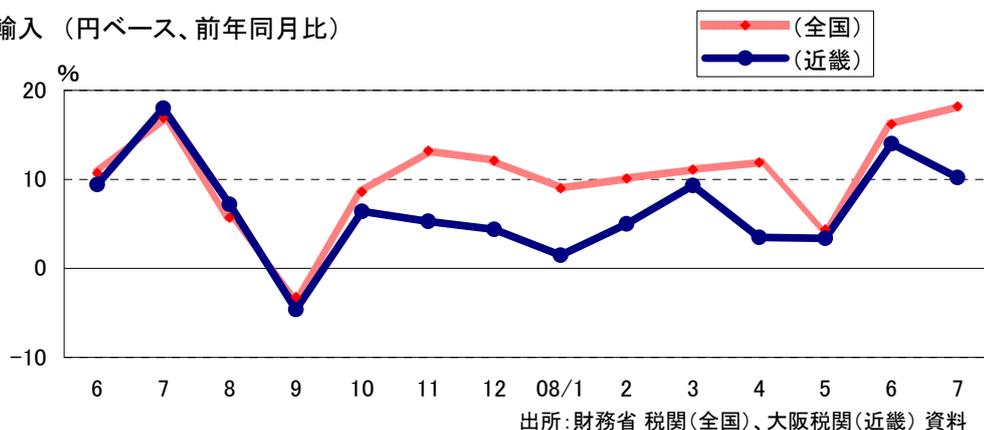
輸出入 増加

輸出（円ベース、前年同月比）



◇近畿は前年同月比8.7%増で76ヶ月連続のプラス、4ヶ月ぶりに過去最高を更新した。特に、鉱物性燃料、半導体等電子部品が増加。アジア向けは77ヶ月連続のプラス。米国向けは9ヶ月連続、EU向けは3ヶ月連続のマイナス。

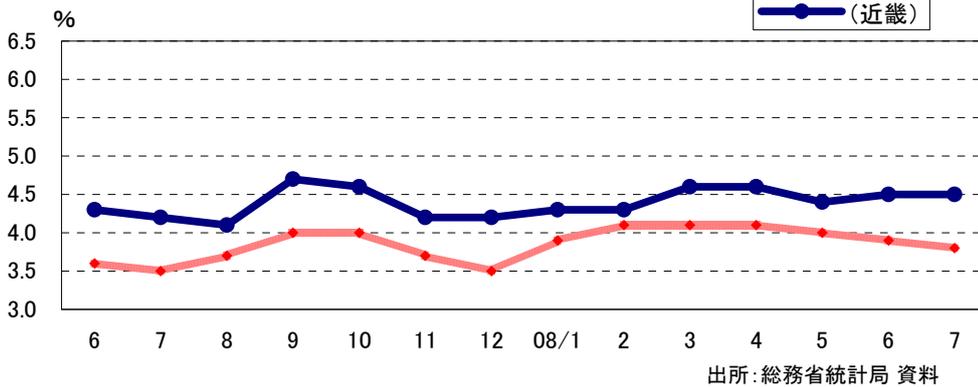
輸入（円ベース、前年同月比）



◇近畿は前年同月比10.2%増となり、10ヶ月連続のプラス。3ヶ月連続で過去最高額を更新した。要因は、原油、石炭の単価の上昇。アジア向けは2ヶ月連続、中国向けは4ヶ月ぶりのプラス。EU向けは、17ヶ月ぶり、米国向けは、2ヶ月ぶりのマイナス。

雇用・倒産 雇用はやや弱い動き 倒産件数は増加

完全失業率 (全国・近畿ともに原数値)



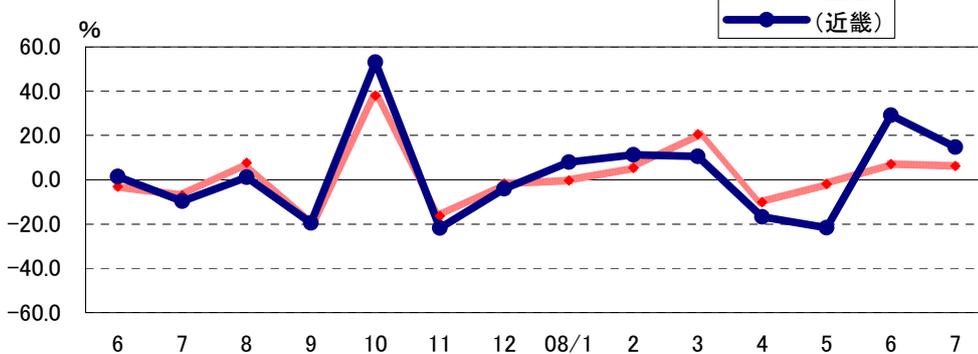
◇近畿の完全失業率は4.5%、3ヶ月連続で前年を上回った。全国は3.8%。

有効求人倍率



◇近畿は0.88倍となり前月から低下した。新規求人倍率は、1.30倍と前月(1.23倍)から上昇した。

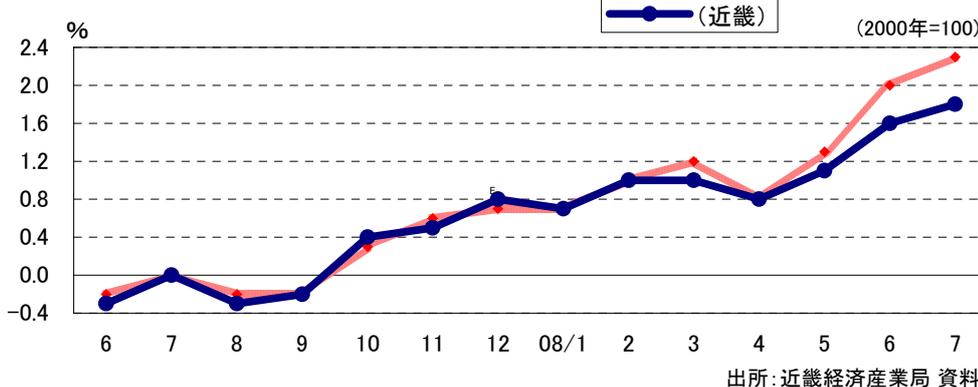
企業倒産件数 (前月比)



◇近畿の倒産件数(法的整理による倒産)は前月比14.7%増。4ヶ月ぶりに300件の大台を超えた。業種別構成比で建設業が27.9%、次いでサービス業が20.3%と両者でほぼ半数を占めている。

物価 上昇

消費者物価指数 (前年同月比)



◇近畿は101.8で前年同月比1.8%増。10ヶ月連続の上昇。品目別では、食料、交通・通信、光熱・水道が上昇。